

平成18年3月14日

各 位

東京都港区六本木一丁目6番1号
イー・トレード証券株式会社
代表取締役執行役員社長 井土 太良
(コード番号: 8701)

問い合わせ先:
執行役員 齋藤 岳樹
電話番号: 03-5562-7210(代表)

「南アフリカランドeワラント」の取扱い開始のお知らせ ～カバードワラント(eワラント)に注目度の高い通貨を追加～

SBIグループのイー・トレード証券株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:井土太良)は、平成18年3月20日よりゴールドマン・サックス証券会社(所在地:東京都港区、社長:持田昌典、トーマス・K・モンタグ、以下「ゴールドマン・サックス証券」)が提供し、当社が販売する個人投資家向け投資商品「eワラント」において、「南アフリカランドeワラント」の取扱いを開始することとなりましたのでお知らせいたします。

当社は平成13年4月よりゴールドマン・サックス証券の提供する「eワラント」の販売を開始し、個人投資家に株式以外の幅広い投資機会を提供してまいりました。eワラントは株や株価指数などを売買する権利を証券化した商品で幅広い対象への投資が可能です。今回追加を予定している「南アフリカランドeワラント」は為替eワラントのひとつで、エマージング・マーケットの通貨の中で注目度が高まっている南アフリカ・ランド相場への投資を可能にする商品です。

当社では平成15年5月より南アフリカ・ランド建債券の販売を行っており、好利回り、高格付けなどの特徴から大変好評をいただいております。また、平成17年7月から外国為替保証金取引の通貨ペアに南アフリカ・ランドを追加するなど、個人投資家の南アフリカ・ランドへの投資ニーズに対して様々な投資機会を提供してまいりました。今回「南アフリカランドeワラント」9銘柄(南アフリカランド高型5銘柄、南アフリカランド安型4銘柄、計9銘柄)を追加することで、南アフリカ・ランドへの新たな投資機会の提供を実現します。

「南アフリカランドeワラント」の主な特徴

1. 注目の南アフリカ・ランドへの投資アクセス:
現在、米ドル、ユーロ、円と比較して高金利であり取引ニーズが高いと考えられる南アフリカ・ランドに投資するのと同等の経済効果が期待できます。(金利差はeワラント価格に織り込まれています。)
2. 実質0.17%程度の売買スプレッド:
南アフリカ・ランドの対円相場が19円前後であるのに対し、一般に、債券投資等に係る為替手数料では、取引コストが往復1円程度(約5%)かかります。一方、「南アフリカランドeワラント」では、売買スプレッド(販売価格と買取価格の差)からてこ効果(短期的な値動きの大きさ)を考慮に入れて算出した実質的な売買スプレッドは0.17%程度となります。このため、当該eワラントを利用した短期のトレーディングも可能です。(但し、売買手数料が別途発生するほか、時間が経過した場合の時間価値の減少等をリスクとして認識する必要があります。)
3. 少額投資:
少額投資が可能です。(約10,000円から30,000円程度)
4. てこ効果:
値動きの大きさ(てこ効果)が、一般に、直接南アフリカ・ランドに投資した場合の3倍から20倍程度と大きなリターンの可能性に挑戦できます。(但し、eワラントの価格形成には対象原資産等の価格変動に加えて様々な要因が影響を与えます。また、eワラントの価格が極端に低下した場合には、対象原資産等の値動きにほとんど反応しない場合があるので注意が必要です。)

5. 取引時間：

9:00から23:50まで取引可能です。（年末年始、土日祝日を除く）

6. 円高もチャンス：

南アフリカランド高型（南アフリカランドコール）と南アフリカランド安型（南アフリカランドプット）の2タイプが用意されているため、南アフリカ・ランド高のみならず、南アフリカ・ランド安も収益機会とすることができます。

（注）リスクの詳細につきましては、ゴールドマン・サックス証券 eワラント ホームページ (<http://www.ewarrant.co.jp>)上の「リスク説明」をご覧ください。

ゴールドマン・サックス証券会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社。1974年に東京駐在員事務所開設、1986年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となる。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。

以 上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先： イー・トレード証券株式会社 社長室 03-5562-7215